

「環境首都創造フォーラム 2017 in 奈良」の開催について

貴重な歴史的資産、豊かな自然環境を守り続けるまちとして、

- ✓他の自治体や団体の事例を本市においても活用
- ✓参加自治体や団体の新たなつながりを作り、連携を強化
- ✓ディスカッションへの市民参加で、環境意識の向上

をめざし、本フォーラムを今年度奈良市で開催。

本フォーラムは、世界が脱化石エネルギー時代、持続可能な社会の実現へ向けて大きく変わろうとする時代において、自治体首長、NGO メンバー及び研究者が集い、「これから」を考える場として毎年度開催されており、先人が守り続けてきた貴重な歴史的資産、自然環境を次代に引き継ぐため、タクシーやバスへの低公害車導入補助など、環境政策に取り組んできた自治体として、今年度「環境首都創造フォーラム 2017 in 奈良」として「地域力のパワーアップ」をテーマに本市で開催をします。

「環境首都創造フォーラム」は、1999年の「環境自治体をつくる市区町村長と環境NGOの戦略会議」から、「環境首都をめざす自治体 全国フォーラム」、環境首都創造NGO全国ネットワーク（別紙「環境首都創造ネットワークの概要」設立に伴う「環境首都創造 自治体全国フォーラム」への改称を経て、現在に至っています。（県内では、「環境首都をめざす自治体 全国フォーラム」が生駒市、本フォーラムでは本市が初の開催。）

- 1 開催年月日 平成 29 年 11 月 20 日（月）～21 日（火）
- 2 開催場所 奈良ロイヤルホテル（奈良市法華寺町 254-1）
- 3 プログラム等

全体スケジュールの概略（詳細は別紙「環境首都創造フォーラム 2017 in 奈良」プログラム参照）

■第 1 部 【会場：鳳凰の間】		
日 時	内 容	参加対象者
①11月20日(月) 13:00～17:00	『市区町村長と 環境NGO、専門家による ディスカッション』	<ul style="list-style-type: none"> ・市区町村長 ・自治体職員 ・環境首都創造NGO 全国ネットワーク構成団体 メンバー ・学識者 ・環境NGO、地域団体等
②11月21日(火) 8:30～12:00		
■第 2 部 【会場：朱雀の間】		
11月21日(火) 13:00～16:20	『地域から日本を変える！ 環境先進事例の交流と ディスカッション』	第1部対象の方に加え、 市民、事業者等

第1部 (1日目) 11月20日(月) 13:00~17:00

(1) 趣旨説明と課題提起

環境首都創造 NGO 全国ネットワーク代表幹事 杵本育生

(2) 市区町村長と環境 NGO、専門家によるディスカッション

■全体テーマ

「地域力をパワーアップ

～持続可能で豊かな地域社会、脱炭素社会をめざして～」

【ディスカッションテーマ1】

「ひとりひとりの社会参画力とコミュニティのパワーアップ」

- ミニレクチャー・事例発表 ●参加者によるディスカッション

【ディスカッションテーマ2】

「環境と地域特性を活かした産業の活性化と雇用の確保」(仮題)

- 事例発表 ●参加者によるディスカッション

第1部 (2日目) 11月21日(火) 8:30~12:00

【ディスカッションテーマ3】

「景観・まちなみの保全と創生、地域全体としてのエコツーリズム」

- ミニレクチャー・事例発表 ●参加者によるディスカッション

【ディスカッションテーマ4】

「環境と地域特性を活かした産業の活性化と雇用の確保」(仮題)

- 事例発表 ●参加者によるディスカッション
●環境首都創造ネットワーク 共同政策提案

第2部 11月21日(火) 13:00~16:20

■全体テーマ

「地域から日本を変える！ 環境先進事例の交流とディスカッション」

【分科会1】

「再生可能エネルギー（熱利用、バイオマス、未利用エネルギー、
都市部の取り組みを中心に）」

- 事例発表 ●参加者によるディスカッション

【分科会2】

「ひとりひとりの社会参画力 ESD・環境教育 コミュニティ力」

- 事例発表 ●参加者によるディスカッション

本市の事例発表あり。

「奈良市子ども会議と子どもにやさしいまちづくり条例」

奈良市子ども政策課

【分科会3】

「地域遺産・資産を活かし、次世代に伝える」

●ミニレクチャー・事例発表 ●参加者によるディスカッション

本市の事例発表あり。

「春日山原始林を未来へつなぐ取り組み」

春日山原始林を未来へつなぐ会

4 参加費 第2部参加の市民、事業者は無料。

5 主催

奈良市・環境首都創造ネットワーク・環境首都創造 NGO 全国ネットワーク

協力：環境自治体会議

環境首都創造ネットワークの概要

1. 目的

環境首都創造ネットワークは、日本を地域から持続可能で豊かな社会に変えていき、住民生活の「真の豊かさ（QOL）」を築くことを目的に、自治体、NPO、研究機関が連携し、継続的で具体的な研究、実践、協働活動を行っています。

2. 設立

平成 24 年 11 月設立

日本を地域から持続可能で豊かな社会に変えていくには、多様なセクターが参画する戦略的なパートナーシップの構築が必要との考えのもと、「日本の環境首都コンテスト」を主催していた NPO 及び積極的に参加していた自治体を中心に結成。

3. 会員

■自治体 14 市・町

北海道 ニセコ町	長野県 飯田市	静岡県 掛川市	愛知県 新城市
愛知県 安城市	岐阜県 多治見市	奈良県 奈良市	奈良県 生駒市
奈良県 斑鳩町	鳥取県 北栄町	島根県 海士町	
愛媛県 内子町	山口県 宇部市	熊本県 水俣市	

■NGO 17 団体

FoE Japan（東京都） 環境エネルギー政策研究所（東京都）
 環境文明 21（東京都） 環境自治体会議環境政策研究所（東京都）
 かながわ環境教育研究会（神奈川県） ふるさと環境市民（神奈川県）
 川崎フューチャー・ネットワーク（神奈川県） 南信州おひさま進歩（長野県）
 中部リサイクル運動市民の会（愛知県） 地域の未来・志援センター（愛知県）
 環境市民（京都府） 気候ネットワーク（京都府・東京都） 公益財団法人公害地域再生センター（大阪府） 未来の子（広島県） 暮らしを見つめる会（高知県）
 環境ネットワークながさき塾（長崎県） 環境ネットワークくまもと（熊本県）

■専門家 8 人

京都大学名誉教授、地球環境戦略研究機関（IGES）シニア・フェロー 松下和夫
 富山大学副学長 中川大
 龍谷大学政策学部 教授 白石克孝
 循環社会システム研究所 代表、京都大学名誉教授 内藤正明
 総合地球環境学研究所 研究員 増原直樹
 独立行政法人国立環境研究所社会環境システム研究センター主任研究員 藤野純一
 立命館大学経営学部 教授 ラウパツハ・スミヤ ヨーク
 京都産業大学法学部 教授 焦従勉

3. 事業内容

- (1) 環境、経済、社会の三要素を大切に、先進的かつ根源的な政策・活動（パッケージ）の調査、研究、立案及びその政策・活動のモデル自治体での率先的な実施の支援、成果の検証並びに評価。

- (2) 持続可能な社会構築のため、参加自治体及びその連合が行なう政策の検討、立案、実施のサポート。
- (3) 環境首都創造全国フォーラムの共同主催
- (4) (1)~(3)の活動をもとに、日本社会として取り組むべき社会的課題の提言及び実践の促進。
- (5) 地域公共人材の育成のための共同研修、先進事例交流等の実施及び必要に応じた人材の交流と流動化。
- (6) その他、本ネットワークの目的達成のために必要な活動。

4. 主な活動内容

- ・環境自治体をつくる 市区町村長と環境 NGO の戦略会議

1999年から毎夏、京都で2日間の日程で、2006年度まで7回開催しました。

- ・環境首都をめざす自治体 全国フォーラム

2007年度からは名称を改め、環境首都コンテストに参加する自治体との共催かつ開催地持ち回りで開催していくことになりました。

2007年度は山口県宇部市、2008年度は長野県飯田市、2009年度は愛知県安城市、2010年度は熊本県水俣市で、計4回開催しました。

- ・環境首都創造 自治体全国フォーラム

2011年度 環境首都創造 NGO 全国ネットワークの設立、これに伴い環境首都創造自治体全国フォーラムに名称変更、

2012年度 環境首都創造ネットワークの設立

2011年度は愛知県新城市、2012年度は奈良県生駒市、2013年度は静岡県掛川市で計3回開催しました。

- ・環境首都創造フォーラム

2014年度からは、環境首都創造フォーラムと名称を変え、2014年度は京都府京丹後市、2015年度は鳥取県北栄町、2016年度は山口県宇部市で開催しました。

2017年度 11月20日(月)・21日(火) 奈良市で開催

「環境首都創造フォーラム 2017 in 奈良」プログラム

【フォーラムの趣旨】

2016年11月、パリ協定は採択から1年を待たずに発効しました。また、国連は「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」を全会一致で採択し、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」を掲げました。世界は、まさに脱化石エネルギー時代、持続可能な社会へ向けて大きく舵を切ろうとしています。

これらの世界的な動きは、気候変動、生物多様性などの環境問題をはじめとして、貧困、格差、人権、平和、資源、エネルギー、経済等の諸問題を解決しなければならないという強い決意を示すものといえます。このような課題に取り組まなければならないのは、日本の地域社会も同様であり、地域社会はその変化による社会的影響も大きく受けます。さらに私たちの地域社会には、人口減少、高齢化、雇用の確保、地域の文化や環境の保全など、様々な課題にも取り組む必要があります。

本フォーラムは、このように大きく社会が変わろうとする時代において、環境首都、そして持続可能で豊かな地域社会をめざす自治体首長・職員とNGOメンバー及び研究者が集い、これからを考える場です。セクターを超えて情報共有と建設的な議論を行い、その成果を各地での実践に活かすとともに、活動展開への推進力を創出するために毎年度開催しています。

奈良フォーラムは、「地域力のパワーアップ」をテーマに、環境問題への解決と合わせた地域産業の活性化と雇用の創出、ひとりひとりの住民の社会参画力とコミュニティ力をより向上するための方策などについての議論を深め、持続可能で豊かな地域社会、脱炭素社会の実現に向けての必要な政策を明らかにすることを目的に開催します。

《全体スケジュール》

第1部 『市区町村長と環境NGO、専門家によるディスカッション』

2017年11月20日（月）午後1時から午後5時まで（予定）

2017年11月21日（火）午前8時30分から正午まで（予定）

第2部 『地域から日本を変える！ 環境先進事例の交流とディスカッション』

2017年11月21日（火）午後1時から午後4時20分まで（予定）

《参加対象者》

第1部

- ・市区町村長 ・自治体職員
- ・環境首都創造NGO全国ネットワーク構成団体メンバー
- ・学識者 ・関心の高い環境NGO・地域団体等

第2部

第1部対象の方に加えて、関心のある奈良市民、事業者等

《会 場》 第1部 奈良ロイヤルホテル鳳凰の間(ろ+は) (奈良市法華寺町 254-1)
第2部 奈良ロイヤルホテル朱雀の間(い、ろ、は)

《主 催》 奈良市・環境首都創造ネットワーク・環境首都創造 NGO 全国ネットワーク

《協 力》 環境自治体会議

《日程・内容》

11月20日(月) 第1部(1日目) 13:00~17:00

■市区町村長と環境NGO、専門家によるディスカッション

ディスカッションテーマ1

「ひとりひとりの社会参画力とコミュニティのパワーアップ」

事例発表・ミニレクチャー

ミニレクチャー

「ひとりひとりの社会参画力とコミュニティのパワーアップ」

～若者を惹きつけるには～

龍谷大学政策学部教授 白石克孝氏

事例発表 「とさっ子タウン」の取り組み

ディスカッションテーマ2

「環境と地域特性を活かした産業の活性化と雇用の確保」

事例発表 「イノベーションが起こる地域社会創造を目指して」

～求められる共創の場づくり～

飯田市長 牧野光朗氏

福井県池田町「木望のまちプロジェクト」と

農村力を活かした多様な第6次産業の展開

池田町副町長 溝口淳氏

■自治体政策オリンピックの先進事例表彰

17:55~18:10 会場：奈良ロイヤルホテル

11月21日(火) 第1部(2日目) 8:30~12:00

ディスカッションテーマ3

「景観・まちなみの保全と創生、地域全体としてのエコツーリズム」

事例発表・ミニレクチャー

ミニレクチャー 「景観・まちなみの保全と創生、地域全体としての

エコツーリズム」

京都府立大学教授・副学長 宗田好史氏

事例発表 「内子町の取り組み」

内子町町並地域振興課

11月21日(火) 第2部 13:00~16:20

分科会1

事例発表

岩手県紫波町 木質バイオマス地域熱供給事業

紫波グリーンエネルギー株式会社/サステナジー株式会社

代表取締役 山口勝洋氏

地域協働ですすめる再生可能エネルギーのこれから

おひさま進歩エネルギー株式会社

奈良県吉野町殿川集落 小水力発電+地域おこし

殿川小水力発電研究会 吉村耕治氏

まちなかでの再生可能エネルギーの取り組み

環境エネルギー政策研究所理事・主席研究員 松原弘直氏

コメンテーター 気候ネットワーク事務局長 田浦健朗氏

分科会2

事例発表

奈良市子ども会議と子どもにやさしいまちづくり条例

奈良市子ども政策課

垂井町のまちづくり協議会の取り組み

岐阜県垂井町東地区まちづくり協議会副会長

NPO 法人泉京・垂井副理事長 神田浩史氏

揖斐川流域のESDの取り組み

中部環境パートナーシップオフィス協働コーディネーター 河合良太氏

勝山市わがまち魅力発散事業 勝山市長 山岸正裕氏

コメンテーター 龍谷大学政策学部教授 白石克孝氏

分科会3

事例発表・ミニレクチャー

ミニレクチャー 「地域の自然遺産・資産を活かし、次世代に伝える」

舞根森里海研究所長、NPO 法人森は海の恋人理事

NPO 法人 SPERA 森里海理事、京都大学名誉教授 田中克氏

事例発表

地震の教訓から持続可能な社会創りへ くまもと未来ネット

熊本県水俣市 「村まるごと博物館」の取り組み 水俣市

春日山原始林を未来へつなぐ取り組み

春日山原始林を未来へつなぐ会

コメンテーター 京都府立大学教授・副学長 宗田好史氏